



2023年5月15日

令和5（2023）年度第1回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2023年5月17日（水）10:30～11:30
場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室
YouTube：<https://youtube.com/live/RfPp0lxzDdo>

<記者会見項目>

- ① 令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 研究支援賞を
研究推進課 飛沢 健 高度専門員が受賞しました
～新規半導体製作環境構築による先端デバイス研究への貢献～
【研究推進課 高度専門員 飛沢 健】（別紙1）
- ② 豊橋技術科学大学 SDGs 取組方針と重点課題の策定について
～サステイナブルなキャンパス実現と技術科学による価値創造に向けて～
【理事・副学長 若原 昭浩】（別紙2）
- ③ 目指せ2連覇！ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」が
NHK 学生ロボコン 2023 に出場決定！
【ロボコン同好会 代表 廣本 一真】（別紙3）
- ④ 4年ぶりに530（ごみゼロ）運動を実施します
【総務課総務係】（別紙4）
- ⑤ 2023年度の社会人向け実践教育プログラム
産業技術科学分野8講座／地域社会基盤分野5講座 でスタートします！
【社会連携課社会連携係】（別紙5）

<本件連絡先>

総務課広報係 岡崎・高橋
TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



2023年5月15日

**令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 研究支援賞を
研究推進課 飛沢 健 高度専門員が受賞しました**
～新規半導体製作環境構築による先端デバイス研究への貢献～

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、研究推進課 飛沢 健 高度専門員が研究支援賞を受賞しました。研究支援賞の受賞は、本学初となります。

「研究支援賞」は、研究現場において高度で専門的な技術的貢献を通じ、研究開発の推進に寄与する活動を行った技術職員等を顕彰するべく、令和2年度に創設されたものです。

【研究支援賞】

業績名：「新規半導体製作環境構築による先端
デバイス研究への貢献」

受賞者：研究推進課 飛沢 健 高度専門員

学 位：博士（工学）



<受賞コメント>

このたび文部科学大臣表彰 研究支援賞を賜り、たいへん光栄に思います。支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。

本学は、半導体試作における設計・製作・評価までを一貫して行うことのできるLSI工場を有していますが、試作に必要な設備機器と共に、高度な専門知識を有し、半導体製作の技術支援ができる人材が教育・研究の現場から求められていました。私は微細加工、薄膜成膜などの先端の要素技術およびそれらの組み合わせを最適化したインテグレーション技術を検討、新規半導体製作環境を構築し、学生や研究者の要望に応じたオーダーメイド支援を行いました。その結果、学生や研究者の自由な発想から新たな半導体先端デバイスが創造され、多数の学術論文や学会発表に繋がり、当該研究の発展に貢献できた点をご評価いただいたと考えております。

これからも、次世代半導体デバイス研究の発展に少しでも貢献できるように、より一層精進して参ります。

本業績の詳細について、5月17日（水）開催の定例記者会見にて発表いたします。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰研究支援賞受賞

新規半導体製作環境構築による 先端デバイス研究への貢献

豊橋技術科学大学
研究推進課 高度専門員 博士(工学)
飛沢 健

1

国立大学法人
豊橋技術科学大学

自己紹介(経歴)

氏名 飛沢 健(ひざわ たけし)

2007年3月 豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程
電子・情報工学専攻修了 博士(工学)の学位取得
学位論文:「電荷転送型pHイメージセンサに関する研究」
半導体集積化センサの研究

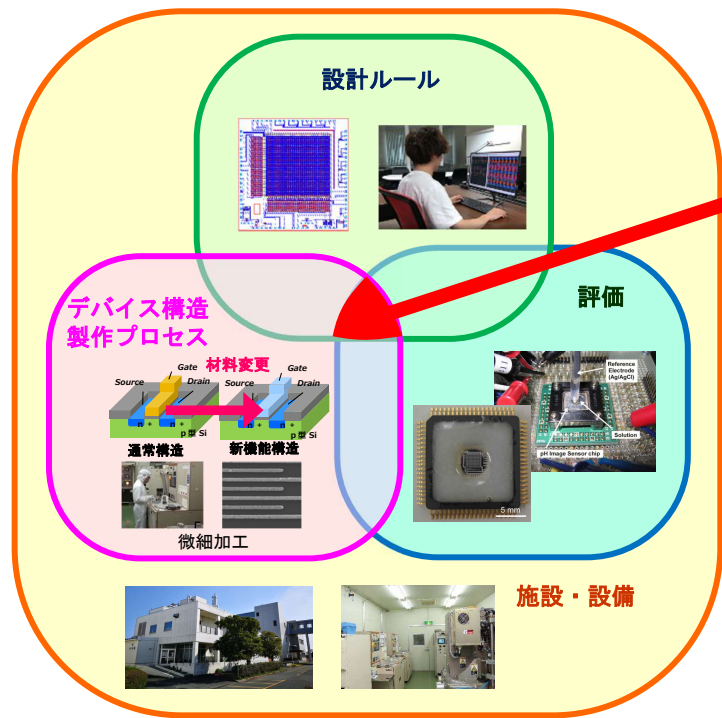
2007年4月～2013年7月
株式会社東芝
半導体の製造プロセス開発に従事

2013年8月～ 豊橋技術科学大学 技術職員として勤務
技術職員:学生・研究者の教育・研究を技術で支える職員
半導体教育・研究施設における半導体試作の技術支援・
設備機器管理に従事

2

国立大学法人
豊橋技術科学大学

半導体教育・研究に必要な要素



高度な専門知識を有する
各要素の横断的支援

- ✓ 半導体デバイス **試作支援**
- ✓ 装置・設備の **維持管理**
- ✓ 施設の **安全管理**
- ✓ リカレント教育・高専生等若手実習・近隣技術職員等の **講習会の開催**
- ✓ 学外からの **技術相談**・施設利用対応

【科学技術分野の文部科学大臣表彰】

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的に表彰。

【研究支援賞】

研究現場において高度で専門的な技術的貢献を通じ、研究開発の推進に寄与する活動を行った **技術職員等を顕彰するべく、文部科学大臣表彰の一部門として令和2年度に創設。**

文部科学省HP等より抜粋

本学ではじめて研究支援賞受賞

「新規半導体製作環境構築による先端デバイス研究への貢献」

【研究支援の概要】

半導体製作のための設備機器環境を維持管理するだけでなく、微細加工、薄膜成膜などの先端の要素技術およびそれらの組み合わせを最適化したインテグレーション技術を検討、新規半導体製作環境を構築し、研究者の要望に応じたオーダーメイド支援を実行。

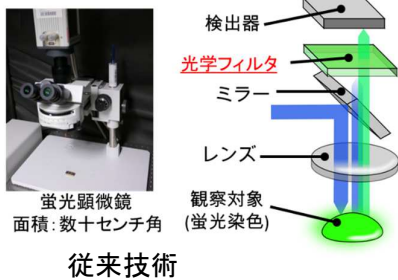


【業績の社会的効果・実施効果】

研究者の自由な発想から新たな半導体先端デバイスが創造され、次世代の人材育成にも貢献。

オーダーメイド支援の一例

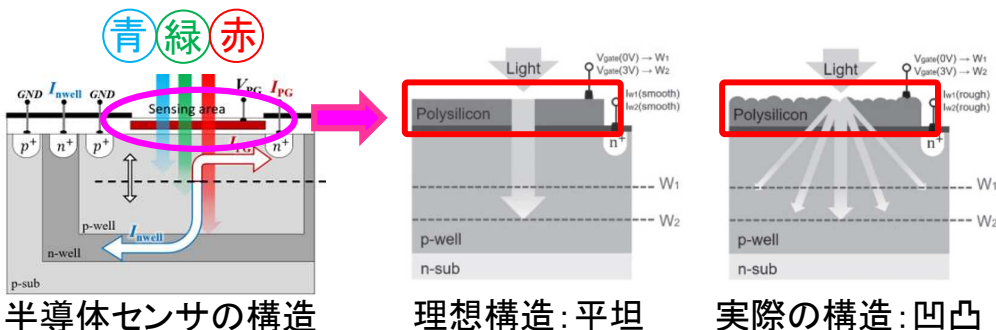
研究者のアイデア



- ✓ 半導体技術を使うことで、小型・高性能な検出装置が実現
- ✓ ウイルス検査・バイオ分野への応用が期待

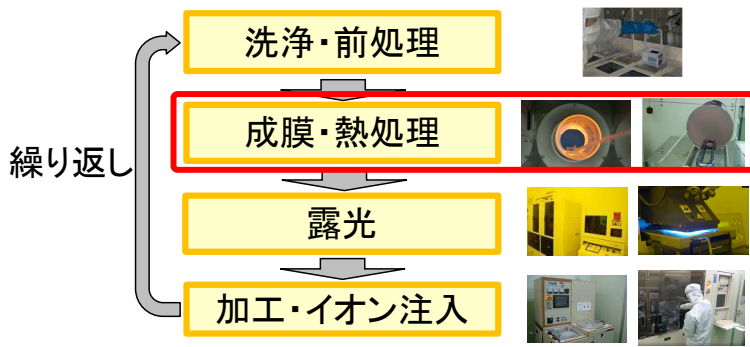
研究者からの相談

光の波長を分離する半導体集積化センサ



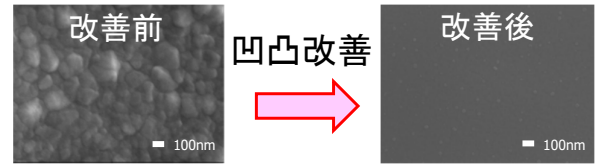
オーダーメイド支援の具体例

半導体製作工程: 数10から約100工程



- ✓ 最適な製作条件の検討
- ✓ 最適な使用装置の検討
- ✓ 最適な製作工程の検討

電子顕微鏡画像

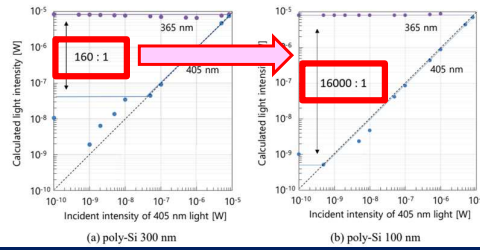
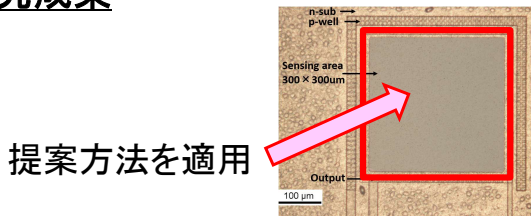


Poly-Si厚さ=300nm
RMS* = 16.29nm

Poly-Si厚さ=300nm
RMS = 1.63nm

*RMS: Root Mean Square

研究成果



オーダーメイドで製作条件・製作工程を変更した結果、2種類の光の波長を分離する能力が従来より100倍改善

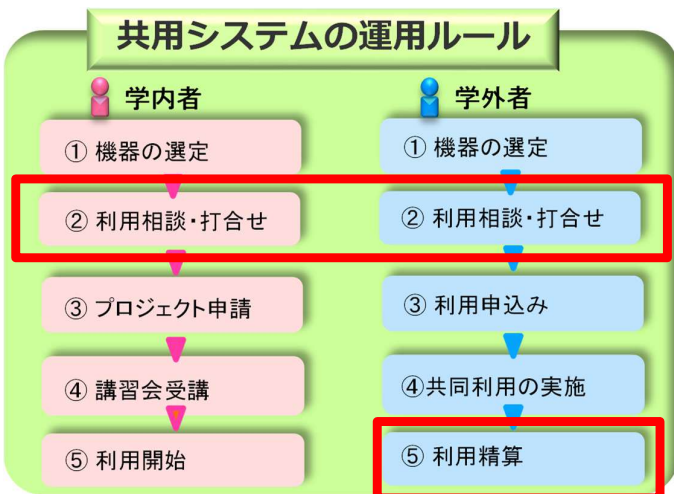
T. Noda, T. Teshima, Y. J. Choi, **T. Hizawa**, K. Takahashi, H. Ishii, K. Sawada, "Performance Improvement of Filter-Free Fluorescence Sensor in Near-Ultraviolet Region Aiming for Biosensing Application", IEEJ Transactions on Sensors and Micromachines, 141(3), p77-82, 2021年3月発表, 査読あり

LSI工場の学外共用システムの構築

文部科学省「先端研究基盤共用促進事業(新たな共用システム導入支援プログラム)(平成29~31年度)」に採択・支援

研究設備・機器の学内外共用化を促進

半導体ワンストップ試作可能な施設を学外にも提供

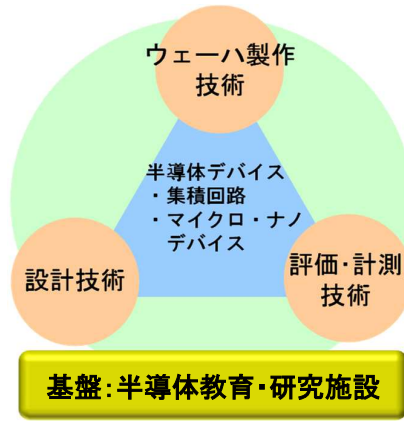


半導体製作に関する高度な専門知識を持った技術職員が、すべての装置利用に関する相談、打合せまでを行う

学外者への装置利用・指導を1日定額有償対応

利用者からの要望に迅速に対応

半導体ファブを持たない、新規材料を検討したい企業に好評
年間学外(企業含む)からの数社数十件の利用に対応



社会人向け リカレント教育	「集積回路技術講習会」(本学で約40年続く講習会)
	半導体全製作工程体験型講習会 「半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演」 短期オーダーメイド型講習会
高専生向け体験実習・インターンシップ	
近隣の大学・高専・研究所の技術職員向けの研修	

2013年以降、これまでの講習会を引き継ぎ、新しい講習会テーマを構築し、約120名の人材育成に貢献

まとめ

インプット

- 半導体研究
・新規デバイス構想
- 半導体人材不足
・リカレント教育
・高専人材育成
・技術職員研修



アウトプット

- 先端デバイス研究
・グリーンデバイス
・集積回路・センサ
・微細構造デバイス
- 半導体人材育成
・実践的現場人材
・半導体イノベータ人材

研究者の要望に応じた半導体の
オーダーメイド支援

研究者の自由な発想から新たな次世代先端デバイスが創造、次世代半導体人材の育成に貢献



2023年5月15日

豊橋技術科学大学 SDGs 取組方針と重点課題の策定について
～サステイナブルな多文化共生キャンパス実現と技術科学による価値創造に向けて～

<概要>

豊橋技術科学大学は、社会的ニーズに応える研究を牽引できる人材を育成し、研究成果の社会実装を進めることで人類社会の持続的発展に貢献するという、将来ビジョンを掲げております。この取組をより一層推進するため、この度、SDGs 取組方針を策定し、5つの重点課題を定めました。さらに、この SDGs 取組方針を具現化し見える化を図るため、学生と教職員のための SDGs 推進マニュアルを発行しました。

<詳細>

本学では2022年4月にSDGs推進本部を立ち上げ、2023年3月、大学全体でのSDGs推進に向けて、本学の理念、将来ビジョン、第四期中期目標・中期計画を踏まえ、SDGs取組方針を策定するとともに、下記の5つのSDGs重点課題とSDGsに関連した主要なKPIを特定しました。

- ① サステイナブルなキャンパス活動の推進
- ② ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン (DE&I) の推進
- ③ SDGs 達成に貢献する研究活動の推進
- ④ 高専と連携した地方創生 SDGs の推進
- ⑤ SDGs 教育の推進

特定にあたっては、これまでの本学におけるSDGsに関する取組状況や、大学がどのように社会課題に取り組んでいるかを評価する「THEインパクトランキング」の指標等を参照しながら、現在の大学の強みと目指すべき姿について明文化しました。

今後は、SDGs取組方針と推進マニュアルに基づいて、地域社会・高専と連携した各種事業を高度に推進してまいります。

【本学で取り組む主要なSDGs】



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

豊橋技術科学大学 SDGs 取組方針、 重点課題の策定と公表について

【概要】

豊橋技術科学大学は、社会的ニーズに応える研究を牽引できる人材を育成し、研究成果の社会実装を進めることで社会の持続的発展に貢献するという、将来ビジョンを掲げております。

この取組をより一層推進するため、この度、SDGs取組方針を策定し、5つの重点課題を定めました。

さらに、このSDGs取組方針を具現化し見える化を図るため、学生と教職員のためのSDGs推進マニュアルを発行しました。

今後は、SDGs取組方針と推進マニュアルに基づいて、地域社会・高専と連携した各種事業を高度に推進してまいります。

豊橋技術科学大学におけるSDGsの取り組み紹介ホームページ:

<https://www.tut.ac.jp/about/attempt/sdgs.html>

【問い合わせ窓口】

SDGs推進本部 事務担当 総務課広報係

TEL: 0532-44-6938

E-mail: sdgs@office.tut.ac.jp



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「Transforming Our World: the 2030 Agenda for Sustainable Development(我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ)」に掲げられた、「No one will be left behind(誰一人取り残さない)」持続可能で多様性(ダイバーシティ)と包摂性(インクルージョン)のある社会の実現のための2030年を年限とする国際目標である。SDGsは下記の17のゴールと169のターゲットから構成されている。







豊橋技術科学大学 SDGs 取組方針

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学の探究によって
新たな技術を開発する学問「技術科学」の
教育・研究・社会との共創活動を通じ、
SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献します。
さらに、本学独自のSDGs重点課題を設定し、
全学的な取組を推進します。

2023年3月策定

豊橋技術科学大学 SDGs重点課題

重要テーマ	目指す姿(2050年)	SDGs重点課題 (2022-2027)	主要な SDGs	関連する SDGs
持続可能な多文化 共生キャンパスの実現	ウェルビーイング:全構成員が 身体的・精神的・社会的に良好 な状態で満足度が高い多文化 共生キャンパスを実現します。	①持続可能なキャンパス 活動の推進 ②ダイバーシティ、エクイティ& インクルージョン(DE&I)の 推進	 3 すべての人に 健康と福祉を	1, 2, 4, 5, 8, 10, 11, 16
	エネルギー:省資源・省エネル ギーを推進すると共に、再生可 能エネルギーを活用した持続性 の高いキャンパスを実現します。		 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11, 12
	グリーン:カーボンニュートラル を推進し、クリーンで災害に強く 自然豊かなキャンパスを実現し ます。		 13 気候変動に 具体的な対策を	6, 11, 12, 14, 15
技術科学の探求による 産業と技術革新の創造	「技術科学」の探求により、 SDGs達成に貢献し、社会・ 環境課題の解決と新たな価値を 創出します。	③SDGs達成に貢献する研究 活動の推進	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	他のSDGs すべて
社会との共創による技術 科学の展開	地域や全国の高専等との連携・ 協働を伴った教育研究と実証化 事業を推進する体制を構築し、 地方創生SDGsを実現します。	④高専と連携した地方創生 SDGsの推進 ⑤SDGs教育の推進	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	他のSDGs すべて

豊橋技術科学大学 SDGs重点課題とKPI

SDGs重点課題	KPI	KPIの目標値	達成時期	該当する中期計画の項目
① サステイナブルなキャンパス活動の推進	SDGsに関する取り組み実績	THEインパクトランキングに係る参加カテゴリ数と評価点の向上(2023年の評価点を基準とする)	2027年度	(新規)
		国連アカデミック・インパクトへの投稿数の向上	毎年	(新規)
	キャンパス内の施設整備・施設の有効活用等の仕組み強化の状況	キャンパスマスタープラン2022の策定と施設整備・有効活用等の仕組みの構築	2023年度	中期計画10-1-1、10-1-2
② ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進	外国人留学生の割合	14%(中期目標期間の平均値)	2027年度	中期計画5-2-2
	外国人留学生アンケートによる満足度	7割	毎年	中期計画5-2-3
	女性研究者雇用	女性研究者雇用計画の策定	2022年度	中期計画7-2-2
③ SDGs達成に貢献する研究活動の推進	地域の課題解決に資する共同研究等の契約数	105件	2027年度	中期計画1-2-1
	社会実装・社会提言研究の件数	12件	2027年度	中期計画 6-2-1
	SDGsに関連したScopus掲載の学術刊行物数	114報(過去5年間の平均値の2倍)	2027年度	(新規)
④ 高専と連携した地方創生SDGsの推進	TUTサテライト設置数	3高専に設置	2024年度	令和4年度教育研究組織改革分(中期計画8-2-1)
	産学連携を含んだ高等専門学校と本学の共同研究数	30件	2027年度	中期計画 8-2-1
⑤ SDGs教育の推進	SDGs科目数	3科目	2025年度	令和4年度教育研究組織改革分(中期計画1-1-1)
	学生のSDGs教育に対する満足度、理解度	7割	毎年	中期計画 1-1-2
	SDGsに関する授業の充実化(全ての授業科目及び全学生の研究テーマへのSDGsラベルリングの実施)	100%	2027年度	中期計画 2-3-2



2023年5月15日

**目指せ2連覇！ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」が
NHK 学生ロボコン 2023 に出場決定！**

豊橋技術科学大学ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」が、6月4日（日）に大田区総合体育館にて開催される「NHK 学生ロボコン 2023」へ出場することが決定しました。

本大会では、書類選考、第1次ビデオ審査、第2次ビデオ審査を経て、選ばれた22チームがアイデアとチームワークを駆使して競います。優勝チームは2023年8月に開催される「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト 2023 カンボジア・プノンペン大会」に日本代表として出場します。

本学は、2022年大会において通算7回目の優勝を果たしており、今回は2連覇に向けた挑戦となります。とよはし☆ロボコンズは、この後も目標である「学生ロボコン優勝」「ABU ロボコン優勝」を目指し、残り少ない期間ではありますが、ロボットの製作・調整に取り組んでいきます。皆さまの熱い応援をよろしくお願いします。



とよはし☆ロボコンズでは、同好会独自の「個人スポンサー制度」による寄附を募集しています。詳細については、以下の個人スポンサーサイトをご覧ください。

<https://supporter.tutrobo.net/>

個人スポンサー制度に関する連絡先
ロボコン同好会 代表 廣本
Email : tutrobo@hotmail.co.jp

広報に関する連絡先
広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋
TEL : 0532-44-6506 FAX : 0532-44-6509



2023年5月15日

4年ぶりに530（ごみゼロ）運動を実施します

豊橋技術科学大学では、5月30日（火）に530（ごみゼロ）運動を実施します。

豊橋市は530（ごみゼロ）運動発祥の地であり、本学においても、この活動を通して、環境美化及び資源の有効活用への意識を高めようと毎年行っております。コロナ禍により、2019年度の実施を最後として中止が続いておりましたが、今年度は4年ぶりに実施することとなりました。

キャンパス内及び大学周辺がきれいになることで、学生・教職員の環境美化への意識が高まり、よりよい環境の中で教育・研究ができるよう、学内一丸となって取り組みます。

- 【日時】5月30日（火）15:00～16:00
- 【実施場所】本学キャンパス内、大学周辺道路等
- 【参加者】学生及び教職員（例年約1,000名が参加）

※雨天の場合は6月6日（火）15:00～16:00に延期

※当日の取材を希望する場合は、総務課広報係までお問い合わせください。

<過去の530運動の様子>



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

2023年度の社会人向け実践教育プログラム

産業技術科学分野 8講座

地域社会基盤分野 5講座

でスタートします！

社会連携推進センター

国立大学法人
豊橋技術科学大学



2023年度
社会人向け実践教育プログラム

2023年5月17日
定例記者会見

社会連携推進センター

University-Community Partnership Promotion Center

オーダーメイド講座
(企業向け人材育成)

個別企業のニーズに対応した人材育成講座

企業の人材育成研修

少人数からでも対応

社会人向け
実践教育プログラム

地域発のイノベーション
創出に貢献できる人材
の育成

産業技術科学分野プログラム
(ものづくり, 起業)

地域社会基盤分野プログラム
(農業, 防災)

社会連携事業

地域社会の活性化, 教養
・文化の向上に貢献

自治体等との連携

地域諸団体等との連携

教育・研究機関との連携・協力

市民向け講座

小・中学生, 高校生向け講座

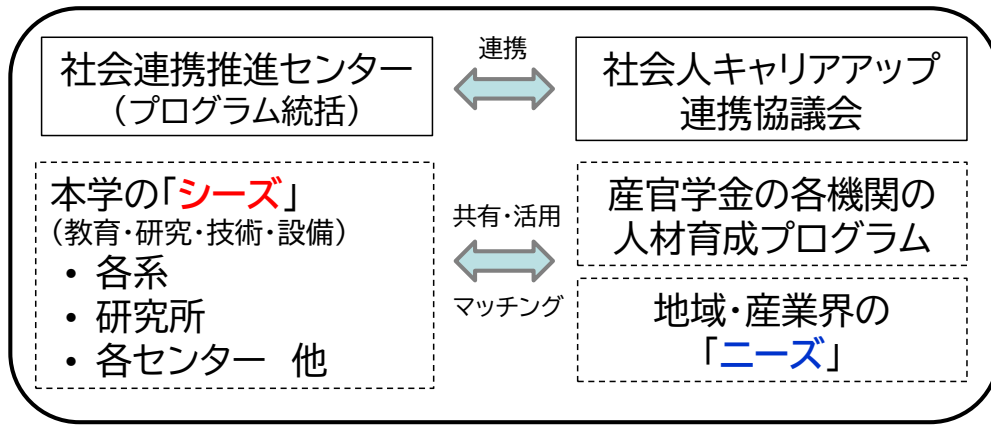
講師派遣

豊橋技術科学大学は、
国連アカデミック・インパクトの
メンバーです

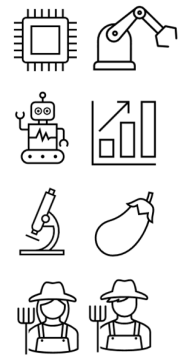
UNITED NATIONS
academic
impact

Sharing
a Culture
of Intellectual
Social
Responsibility





社会人向け実践教育プログラム	
産業技術科学分野 プログラム	LSI技術者育成コース 次世代シークエンサー実習 ものづくり人材育成コース 先端データサイエンスコース アントレプレナー教育コース など
地域社会基盤分野 プログラム	東三河防災カレッジ IT農業技術者支援 6次産業化推進人材育成 など



2023年度実施「社会人向け実践教育プログラム」
産業技術科学分野 :ものづくり、起業

8件

講座名	講座の概要
集積回路技術講習会	半導体(LSI)製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習
半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学会
技術者養成研修「初級機械加工」	機械加工を体験し、設計業務に活かしたい技術者向け研修
技術者養成研修「初級旋盤加工」	旋盤作業に従事する初心者及び機械加工を体験し、設計業務に活かしたい技術者向け研修
先端データサイエンス実践コース	データサイエンスの基礎から実践的応用までを学べる人材養成講座
次世代シークエンサー解析コース	次世代シークエンサーを用いた微生物群集構造解析実習
哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習	細胞の培養、観察、遺伝子導入など、講義・実習を交えて知識と技術を習得する実習
アントレプレナーシップ教育プログラム「4講座:入門、実践、基礎、応用」	[入門講座]新規事業創出に必要な課題発見スキルと本質思考法の習得を目指す講座 [実践講座]スタートアップに必要なアイデア発想スキルの習得と知財創出を目指す講座 [基礎講座]様々な手法を用いてビジネスアイデアの創出を目指す講座 [応用講座]本質的な課題を探り目標設定を行い、サステナブルな観点でビジネスモデルの創出を目指す講座

2023年度実施「社会人向け実践教育プログラム」 地域社会基盤分野：農業、防災関連

5件(BP3件)

	講座名	講座の概要
	東三河防災カレッジ	南海トラフ地震をはじめとする大規模な自然災害から職場や地域を守る防災人材を育成する
BP	最先端植物工場マネージャー育成プログラム	最先端施設園芸である植物工場の管理・経営ができるIT農業者を育成し地域の活性化を図る
BP	IT食農先導士養成プログラム (最先端土地利用型IT農業コース)	ITを農業に導入し、地域の担い手となる土地利用型農業の経営ができる人材を育成する
BP	東海地域6次産業化推進人材育成プログラム	農業者等が新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し意思決定ができる人材を育成する
新規	スマート農業 特別講義	スマート農業技術の講義をリモートで実施し、地域の担い手となる農業者を育成

BP:文部科学省 職業実践力育成プログラム

プログラムに
ついての問合せ先

豊橋技術科学大学 社会連携課社会連携係
TEL 0532-81-5188 / Email jinzai@office.tut.ac.jp

産業技術科学分野

プログラム名	内容、日程等
集積回路技術講習会	半導体(LSI)製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習 ● 7/24~7/28、5日(45時間)【対面】
半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学 ● 随時受付、1日(4時間)【対面】
技術者養成研修(初級機械加工)	機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け ● 6/7~6/8、2日(10時間)【対面】
技術者養成研修(初級旋盤加工)	これから旋盤作業に従事する初心者及び機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け ● 5/11、5/18、6/1、各1日(5時間)*同日程で3回開催【対面】
先端データサイエンス実践コース	データサイエンスの基礎から実践的応用までを学べる人材養成講座 ● 10月~2月、9日(55.5時間)【オンライン】
次世代シーケンサー解析コース	次世代シーケンサーを用いた微生物群集構造解析実習 ● 9月、連続3日(18時間)【対面】
哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習	細胞の培養、観察、遺伝子導入など、講義・実習を交えて知識と技術を習得 ● 随時受付、連続3日(18時間)【対面またはオンライン】
アントレプレナーシップ教育プログラム (実践、入門、基礎、応用)	ビジネスアイデアの創出、ビジネスモデルの構築、アイデアの実践を重点的に実施 ● 実践: 5/11、5/18、5/25、6/1、6/8、5日(7.5時間) ● 入門: 6/15、6/22、6/29、7/13、7/20、5日(7.5時間) ● 基礎: 10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、8日(12時間) ● 応用: 12/8、12/15、12/22、1/5、1/19、1/26、2/2、2/9、8日(12時間)

地域社会基盤分野

プログラム名	内容、日程等
東三河防災カレッジ	南海トラフ地震をはじめとする大規模な自然災害から職場や地域を守る防災人材を育成 ● 10月~1月、10回(1回あたり2時間程度)【講義: オンライン、対面、施設見学】
BP 最先端植物工場マネージャー育成プログラム *2023年度の新規募集はありません	最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができる農業者を育成 ● 2022年12月~2024年3月、1年4ヶ月(452.5時間) 【対面、オンライン、e-ラーニング、施設見学、課題研究】
BP IT農食先導士養成プログラム (最先端土地利用型IT農業コース) *2023年度の新規募集はありません	ITを農業に導入し、地域の担い手となる土地利用型農業の経営ができる人材を育成 ● 2022年12月~2024年3月、1年4ヶ月(385時間) 【対面、オンライン、e-ラーニング、施設見学、課題研究】
BP 東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム	農業者等が新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し意思決定ができる人材を育成 ● 9月~1月、5ヶ月(74時間)【オンライン、対面、施設見学】
新規 スマート農業 特別講義	スマート農業技術等の講義をリモートで実施し、地域の担い手となる農業者を育成 ● 8月~3月、5回(7.5時間)【オンライン】

*BP: 文部科学省認定「職業実践力育成プログラム(BP)」



東三河で学んでキャリアアップ!セミナー探そう

東三河
セミナビ



本学が参画する産学
官金コンソーシアム
「社会人キャリアアップ
連携協議会」の
セミナー紹介サイト

4
質の高い教育を
みんなに



【お問い合わせ】

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
 国立大学法人 豊橋技術科学大学
 社会連携推進センター(社会連携課社会連携係)
 TEL : (0532) 81-5188
 FAX : (0532) 44-6568
 Email : jinzai@office.tut.ac.jp
<https://www.sharen.tut.ac.jp/>



産業技術科学分野

集積回路講習会

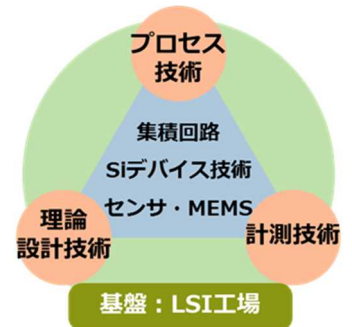
講師：電気・電子情報工学系／澤田和明教授、石川靖彦教授、岡田 浩教授 他
(集積電子システム分野全教職員)

概要：「nMOS 集積回路の製作と集積回路設計の基礎」をテーマに参加者各自が自身の手で Si ウェハを扱い、半導体(LSI)設計・製造から評価までを一貫して LSI 工場内での実習を中心に学ぶことで、半導体技術の全体像を理解する。

開催日：7/24～7/28、5日(45時間)【対面】

募集人員：10名(最少催行人数3名) * 修士レベル

受講料：350,000円



半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演

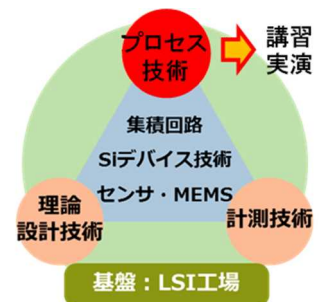
講師：技術支援室／飛沢 健 高度専門員

概要：半導体プロセス技術・製造装置の基礎講習を行ったあとに、クリーンルーム内に入り、装置を稼働させて実演を行う。近年、半導体製品を扱うメーカーの多くは、工場を持たないため、製造現場を体感することで、特に若手の技能向上につながる。講習内容は要望に応じて可能な限り対応。

開催日：随時受付(4時間)【対面】

募集人員：5名(最少催行人数3名) * 学部レベル

受講料：1機関5名まで100,000円



技術者養成研修(初級機械加工)

講師：教育研究基盤センター 工作支援部門／小林正和教授、技術職員

概要：設計や加工担当の新入社員の研修に最適！知っておきたい、興味があるけど今さら聞けない「機械加工技術」について、旋盤・フライス盤・レーザーマーカで、ハンマー作りを体験。M/C・CNC旋盤・レーザ加工機・ワイヤ放電加工機・3Dプリンタ等の機器見学も。

開催日：6/7～6/8、2日(10時間)【対面】

募集人員：6名(最少催行人数3名) * 学部レベル

受講料：10,500円 ※500円は保険代



技術者養成研修(初級旋盤加工)

講師：教育研究基盤センター 工作支援部門／小林正和教授、技術職員

概要：普通旋盤を使用し、課題の設計・製作を通して、機械操作の基本と旋削加工(外径削り、段付き加工、テーパ加工等)を体験学習(新入社員研修に最適)。

開催日：5/11、5/18、6/1、各1日(5時間) * 同日程で3回開催 【対面】

募集人員：6名(最少催行人数3名) * 学部レベル

受講料：5,500円 ※500円は保険代



産業技術科学分野

先端データサイエンス実践コース

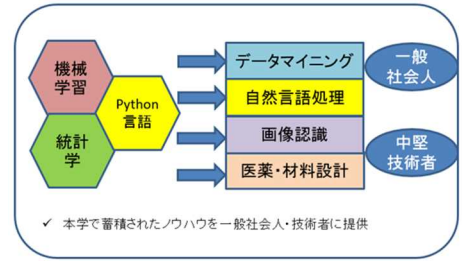
講師：IT 活用教育センター、情報・知能工学系／後藤仁志教授、原田耕治准教授、金澤 靖准教授

概要：統計学や機械学習などのデータサイエンスの基礎理論から、「データマイニング」「自然言語処理」「画像処理」「医薬・材料設計」などの実践的応用のための基本的な技術や考え方を総合的に学ぶことができるよう、段階的に取り組む。オンデマンド自習とオンライン講義にて実施。

開催日：10月～2月、9日（55.5時間）【オンライン】

募集人員：10名（最少催行人数2名）*学部レベル

受講料：100,000円



次世代シーケンサー解析コース

講師：応用化学・生命工学系、次世代半導体・センサ科学研究所／広瀬 侑准教授、中鉢 淳准教授

概要：次世代シーケンサーを用いて、環境中に存在する微生物の種類と数を高精度に調べる手法（微生物群集構造解析）を紹介。受講者がDNA試料を持ち込み、自分のパソコンを用いて解析。

開催日：9月、連続3日（18時間）【対面】

募集人員：6名（最少催行人数4名）*学部レベル

受講料：50,000円



哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習

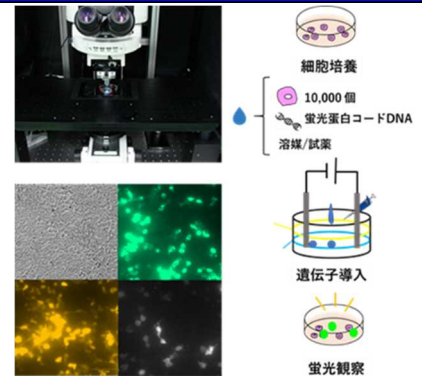
講師：次世代半導体・センサ科学研究所／沼野利佳教授

概要：細胞の培養からリアルタイム蛍光シグナル観察などの細胞イメージング技術、遺伝子導入、ゲノム編集まで、講義・実習を交えて基本知識と技術を習得。*細胞の扱いや、イメージングなどの具体的な実習内容については、事前に相談の上、出来る限り対応。

開催日：随時受付、連続3日（18時間）【対面またはオンライン】

募集人員：3名（最少催行人数2名）*学部レベル

受講料：100,000円（2名から3名まで定額）



アントレプレナーシップ教育プログラム（実践、入門、基礎、応用）

講師：アントレプレナーシップ教育推進室／土谷 徹特任准教授 他

概要：新規事業創出に不可欠なビジネスアイデアの創出、ビジネスモデルの構築、アイデアの実践について重点的に講義を実施。また、アイデアに留まらず実践、仮説・検証する場を設け、より質の高い、効果的なプログラムを実施。

開催日：A 実践：5/11、5/18、5/25、6/1、6/8、5日（7.5時間）

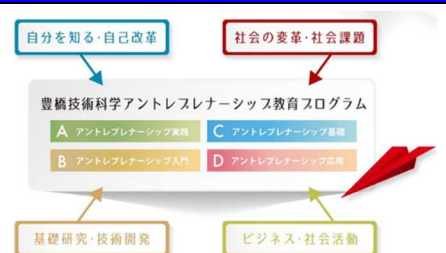
B 入門：6/15、6/22、6/29、7/13、7/20、5日（7.5時間）

C 基礎：10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、8日（12時間）

D 応用：12/8、12/15、12/22、1/5、1/19、1/26、2/2、2/9、8日（12時間）

募集人員：各講座5名（最少催行人数3名）*修士レベル

受講料：A&B 10,000円 C&D 30,000円



地域社会基盤分野

東三河防災カレッジ

講師：安全安心地域共創リサーチセンター／各教員 他

概要：企業、自治体、自治組織等で意欲的に防災に取り組んでいる方や防災担当者を対象として、自然災害から「経営（事業）」、「建物（施設）」、「生命（生活）」を守る人材を育成。

開催日：10月～12月、10回（1回あたり2時間程度）

【講義：オンライン、対面、施設見学】

募集人員：20名（最少催行人数1名）＊修士レベル

受講料：1回500円程度



最先端植物工場マネージャー育成プログラム

＊2023年度の新規募集はありません

講師：先端農業・バイオリサーチセンター／山内高弘 特任准教授 他

概要：ICTを駆使した植物工場に関する技術について講義、実習を行い、次世代植物工場モデルの管理運営ができる人材を育成、農業と地域の活性化を図る。

開催日：2022年12月～2024年3月（452.5時間）

募集人員：10名 ＊修士レベル

受講料：150,000円（割引制度あり）

IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型

IT農業コース）＊2023年度の新規募集はありません

講師：先端農業・バイオリサーチセンター／山内高弘 特任准教授 他

概要：IT（ICT）を農業に導入するための講義、実習を行い、土地利用型農業の管理経営ができる人材を育成、農業と地域の活性化を図る。

開催日：2022年12月～2024年3月（385時間）

募集人員：5名 ＊学部レベル

受講料：150,000円（割引制度あり）

東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム

講師：先端農業・バイオリサーチセンター／山内高弘特任准教授 他

概要：農業者や農業分野へ新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し、その実施に向けた意思決定ができる人材を育成し、東海地域の6次産業の活性化を図る。

＊修了生は内閣府の国家戦略プロフェSSIONAL検定「食の6次産業化プロデューサー」レベル3での申請が可能。

開催日：9月～1月、5ヶ月（74時間）

【オンライン、対面、施設見学】

募集人員：10名（最少催行人数5名）＊学部レベル

受講料：80,000円（割引制度あり）



スマート農業 特別講義 <<新規>>

講師：先端農業・バイオリサーチセンター／高山弘太郎教授、山内高弘特任准教授 他

概要：スマート農業や、カーボンニュートラル関連技術である植物生体情報計測、農業とリモートセンシング（画像診断等）、農業ロボットと画像処理、オーガニック等の講義を実施し、将来地域の担い手となりうる農業者を育成。

開催日：8月～3月、5回（7.5時間）【オンライン】

募集人員：40名（最少催行人数20名）＊修士レベル

受講料：1回2,000円



東海地域の 6次産業化推進人材育成

受講生募集 募集期間 2023.4.10月 ▶ 2023.5.19金

- ・ 6次産業化ビジネスの“あるべき姿”を設計する
- ・ サプライチェーンを統合して、最適システムを設計する
- ・ ニーズ起点の戦略商品を設計する

日程 2023年9月～2024年1月

会場 豊橋技術科学大学・各視察先 他
※オンライン講義の場合もあり

募集人員 10名

受講料 80,000円

対象者 農林水産業者、農林水産業の6次産業化に関心を持つ方

応募資格 高等学校卒業程度の学力を有し、e-ラーニングを受講可能な方

※プログラムや日程、講義方法を変更、あるいは実施を中止する場合があります
※先進事例調査研修（視察）等で実費個人負担がある場合があります

割引制度あり〔割引後受講料〕

- ①豊橋市、田原市・蒲郡市在住・在勤者 30,000円
- ②協賛自治体・企業推薦者 30,000円
- ③農林水産業従事者等 50,000円

※蒲郡市が追加されました
※詳細は募集要項参照



先端農業・バイオリサーチセンターWebサイト

<http://www.recab.tut.ac.jp>

※QRコードは受講生募集案内ページにつながります
<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/entry.html>

左記、Webサイトより募集要項を必読の上、
志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。

食PRO.
LEVEL3 [2015]

国家戦略プロフェッショナル検定
「食の6次産業化プロデューサー」
キャリア段位申請可能



先端農業・バイオリサーチセンターは持続可能な開発目的（SDGs）を支援しています。

東海地域の6次産業化推進人材育成

【教室講義】

カリキュラム名	日程	講師	所属・役職
開講式・オリエンテーション	2023年9月2日(土)	山内 高弘	豊橋技術科学大学特任准教授
基本理念(ビジョン)の共有		長谷川 潤一	一般社団法人食農共創プロデューサーズ代表理事
「食の6次産業化プロデューサー」について		林 加代子	(株)ソーシャル・アクティ代表取締役
ファシリテーション			
6次産業化推進のポイントについて	2023年9月9日(土)	藤井 吉隆	愛知大学地域政策学部教授
マーケティングと経営戦略	2023年9月23日(土)	日野 眞明	MORE経営コンサルティング(株)代表取締役
ビジネスプランの作成 I	2023年9月30日(土)	山村 友宏	(有)F. T. Y. 取締役
農業における制度会計(財務会計・税務会計)と管理会計	2023年10月7日(土)	安形 京子	税理士法人Agata代表社員
農産物の加工における品質管理(HACCP概要)	2023年10月14日(土)	功刀 由紀子	愛知大学地域政策学部名誉教授
農産物の品質管理(GAP概要)		山本 新也	豊橋市保健所生活衛生課専門員
食品加工論		山本 英治	イノチオアグリ(株)
行政機関における6次産業化の支援施策と支援機関	2023年10月28日(土)	小池 克幸	東海農政局経営・事業支援部地域食品・連携課連携企画係長
6次産業化における事業構想のポイント		西郷 鎮廣	豊橋信用金庫事業支援部次長
農業制度資金の活用と経営支援の仕組み		河本 浩	日本政策金融公庫名古屋支店
ビジネスプランの作成 II		細矢 真義	日本プロ農業総合支援機構
ビジネスプランの発表	2023年11月25日(土)	山村 友宏	(有)F. T. Y. 取締役
		藤井 吉隆	愛知大学地域政策学部教授
		横山 順子	地域文化創造研究所所長
		原田 愛子	(株)石巻柿工房代表取締役

【e-ラーニング・必須科目】

カリキュラム名	講師	所属・役職
6次産業化実践論(中間・最終)	加藤 寛昭	食と農研究所代表
商品・サービス・価値形成の考え方・手法1・2	天野 良英	(有)NEWビジネス研究所所長

【e-ラーニング・参考科目】

6次産業化概論	農林水産業の政策動向	ビジネスプラン作成
地域内外でのチームの作り方(概論)	6次産業ビジネスの展開 医療介護参入事例	地域活性化に向けた再生可能エネルギー事業構想の描き方
【事例】企業・地域を経営するとは1(伊豆沼農産事例)	【事例】企業・地域を経営するとは2(ファーマーズフォレスト事例)	【事例】地域内外でのチームの作り方2(和郷園事例)
「日本の食文化と健康」に学ぶ、地域ビジネス創出のスキル	地理的表示保護制度(知的財産で農業成長へ)	財務・会計・資金調達(1) 資金調達と事業主体
財務・会計・資金調達(2) 収支計画の立案とPDCA	農業大団フランスの農産物ブランド戦略-原産地統制呼称(AOC)の歴史と効果-	食品の機能性-科学的に考える新たな商品価値-
【事例】地域の新産業はどうすれば生み出されるか(リバネス事例)	損得学1	損得学2
総合化事業計画作成における申請書記載のコツ	事業開始前のマーケティング	商品化後のマーケティングと実例
財務会計 I	財務会計 II	ファシリテーション

【その他】

1. 開講式は2023年9月2日(土)、修了式は2024年1月12日(金)を予定しています。
2. 先進事例調査研修は、2023年9月16日(土)を予定しています。

※日程や先進事例調査研修先は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。

【申込・問合せ先】

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 技術科学イノベーション研究機構 先端農業・バイオリサーチセンター
6次産業化推進人材育成担当係 宛

TEL 0532-44-6655 E-mail 6jisangyo@recab.tut.ac.jp

令和5年（2023年）度 定例記者会見日程

第1回	5月17日（水）	10：30～	事務局3階大会議室
第2回	6月22日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第3回	8月10日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第4回	9月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第5回	10月26日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第6回	12月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第7回	1月18日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第8回	2月22日（木）	10：30～	事務局3階大会議室

コロナウィルス感染症拡大の状況によっては、オンラインにて開催することもあります。

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上